

**立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)**  
**個人研究費**  
**2006年度研究成果報告書**

研究代表者	所属・職名	氏名
	法学部・助手	浪岡 新太郎 印
研究課題	多文化共生のための新たな政治共同体原理に関する理論的・実証的研究	
研究期間	2006年度	
研究経費	480,000円	

**研究の概要(200~300字で記入、図・グラフは使用しないこと)**

EU統合の深化が進むフランスにおける旧植民地マグレブ諸国出身移民新世代のイスラーム復興運動を事例に「多文化共生のための新たな政治共同体原理に関する理論的・実証的研究」を行う。具体的には、新世代を中心とした、市民性を主張するイスラーム復興運動を中心に検討する。第一に、そのエスニックな出自にかかわらずなく、どのような具体的な人間をも市民として政治共同体(国民国家)に組み込むことができるという政治文化をもつフランス共和制において、なぜ移民新世代を中心とするイスラームのスカーフ問題に見られるような文化衝突、新世代に対する人種差別が問題化するのか。第二に、どのようにしたら排除の対象となっている移民新世代が自分の意見を表明し、支配的多数者と共生していくことができるのか。研究分野としては、民主主義論を中心とした政治学理論の規範的な枠組みと人類学的、社会学的なフィールド調査を組み合わせることで新世代の若者の所与としてではない、個人的な文化の選択、文化変容を抑圧しない、国民国家に限定されないグローバルな政治共同体形成のための一般理論へと寄与することを目的とする。

**キーワード(研究内容をよく表しているものを3項目以内で記入)**

{ 多文化主義 } { 移民 } { イスラーム }

**研究成果の概要** (図・グラフ等は使用しないこと。)

本研究はグローバル化が進展し、政治単位としての国民国家の限界が指摘される中で、多文化主義の問題を検討するために文化変容のダイナミクスに注目し、「承認」することのできる政治共同体形成の問題に取り組む。その際にヨーロッパ域外からの移民の問題として、また、移民出身者が「市民」として認められない理由としてメディアなどで語られることが多い、イスラーム問題を、ヨーロッパ・ムスリム市民アイデンティティを構築しようとしている、フランスにおけるマグレブ系移民出身者の市民性を主張するイスラーム復興運動に注目することで、多文化「共生」という規範的な観点から明らかにしようとする。本年度は特に、これまでの研究成果を踏まえ、①フランス共和制政治文化のヨーロッパ全体の内への位置づけ、②フランスにおける新世代のヨーロッパ・ムスリム市民アイデンティティのヨーロッパの市民性を主張するイスラーム復興運動全体の内への位置づけ、③これまでの研究へのジェンダーの視点の導入を行う予定である。具体的には次のようになる。

1、フランス共和制におけるイスラームの法的な取り扱い、これまでのカトリックを中心とした政教関係の中へのイスラームの位置づけ方を、ヨーロッパのほかの国々の政教関係と比較する。具体的には EU 統合深化の中で各加盟国の政教関係をめぐる法制度がどのように影響をうけているのかを整理し、その中でフランス共和制政治文化の特殊性と、共通性を明らかにした。

2、さらに、フランスを中心に西ヨーロッパ全体に影響を拡大している新世代ムスリムの市民性を主張するイスラーム復興運動が主張し始めているヨーロッパ・ムスリム市民アイデンティティが国ごとにどのような特色を持っているのかを、「ムスリム若者連合 UJM」のヨーロッパ・ネットワークにおける各国の活動の特色を分析することで明らかにし、フランスの UJM の主張するムスリム市民アイデンティティを他国と比較することで、フランスの事例の特殊性と共通性を位置づけた。

3、ジェンダーの観点から、イスラーム復興運動におけるムスリム女性団体の役割を考察する。具体的には UJM のネットワークの中で唯一の女性ムスリム団体結社であった「フランスのアンガジェする女性ムスリム FFEME」の主張するムスリム市民アイデンティティとその具体化としての活動を明らかにし、UJM がネットワークの中で主張するムスリム市民アイデンティティとジェンダーの観点から比較した。

研究成果の概要 (つづき)

※ この(様式 2)に記入の、成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A 4 縦型横書き 1 枚・自由様式)を添付すること。

**研究発表** (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)
- ④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

② 小川有美編『ポスト代表制の比較政治』早稲田大学出版部、2007年、208ページ。  
佐藤幸男編『拡大EU辞典』小学館、2006年、303ページ。

③ 日本国際政治学会ジェンダー分科会、10月5日、千葉かずさアカデミーホール